サポート情報記事

ポリシーをレビューして引き続き有効であることを確認する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

レビュー日を設定する 4

対応が必要なポリシーを探す 4

ポリシーをレビュー中にする 5

変更のないレビューを完了する 5

変更が必要なレビューを完了する 5

ポリシーレビューは、公開済みの内容が引き続き適切かを所有者が確認するプロセスです。従業員の確認期限や、確認できない従業員の対応待ち一覧とは別です。レビュー日を使うと、新しいキャンペーンを自動作成せずに、所有者による定期的な確認を可視化できます。

レビュー日を設定する

Policy Managerでカードを開き、**編集**を選択して**次回レビュー日**を設定し、保存します。この日付はポリシーカードに属します。従業員の期限を延長したり、キャンペーンの期限設定を置き換えたり、コンテンツの自動承認を予約したりするものではありません。

既存の公開済みポリシーでは、レビューを行う所有者を決め、ソースURLにアクセスできることを確認します。現在のワークフローはポリシーの状態とレビュー操作を記録するもので、承認者の順序を独立して強制する多段階の承認エンジンではありません。

対応が必要なポリシーを探す

1 該当するポリシーにアクセスできるアカウントでPolicy Managerを開きます。
2 **レビュー中**を選択します。
3 次回レビュー日が30日以内または過去になっている公開済みポリシーと、明示的にレビュー中の状態になっているポリシーを確認します。
4 判断する前にソースを開き、現在の内容、変更履歴、ソース変更の警告を確認します。

確認が必要タブの用途は異なり、従業員の質問や確認できないケースを扱います。そこで質問を解決しても、ポリシー自体が予定された所有者レビューに合格したことにはなりません。



所有者のレビュー判断を待つポリシー

ポリシーをレビュー中にする

公開済みカードの詳細で**レビューのために送信する**を選択します。この操作は状態をレビュー中に変更し、監査イベントを書き込みます。別の承認タスクを送信したり、ソースを自動で改訂したりはしません。

レビュー中のポリシーは引き続きライブラリに含まれ、キャンペーン選択の対象になります。この状態は、内容を非表示にしたり従業員のすべての操作を阻止したりする仕組みではありません。配布を中断する必要がある場合は、この状態だけに依存せず、実際のキャンペーンと割り当てを確認してください。

変更のないレビューを完了する

内容が引き続き有効な場合は**有効であることを確認する**を選択します。この操作は公開済み状態に戻し、次回レビュー日を現在の日付から一年後に設定します。以前のレビュー日を一年進める操作ではなく、新しいバージョンの作成や従業員への再確認依頼も行いません。

その後、カードを再読み込みし、状態と次回レビュー日を確認します。組織の次回レビュー間隔が異なる場合は、保存結果を確認した後で日付を明示的に編集します。操作した人を確認する必要がある場合は監査ログを調べます。

警告

継続的な有効性の確認では、変更されたソースのバイト列を再公開したり、保存済みのコンテンツフィンガープリントを更新したりしません。ソースを変更した場合は、不一致を解消するためにこの操作を使うのではなく、新しいバージョンを公開してください。KB10519. 新しいバージョンを公開せずにポリシー内容が変更された場合の対処を参照してください。

変更が必要なレビューを完了する

ソースを改訂し、重要な変更か編集上の変更かを判断して**新しいバージョンを公開する**を使用します。KB10514. ポリシーの新しいバージョンを公開して確認を再度依頼する方法に従い、新たな確認が必要な場合はキャンペーンを明示的に開始します。レビュー日も再確認してください。公開と次回レビュー日は別の事項です。レビュー完了後は、明確な所有者、適切な次回日付、理解しやすい公開履歴

が残る状態にします。